矢作ダム管理所　１日管理所長体験！！

国土交通省
矢作ダム管理所

〇8月4日に中学生の矢作ダム1日管理所長体験を実施

※「第44回全日本中学生水の作文コンクール」で環境大臣賞を受賞された、中村光里(なかむらひかり)さん（豊橋市立本郷中学校3年）

〇ダム堤体内の点検、ゲート点検、湖面巡視、ダム湖の水質調査

1日管理所長着任式

ダム内部の点検・巡視

ゲート点検

ダム湖の水質調査

環境大臣賞（優秀賞）

『水の感星の未来は私たちが創る』

愛知県　豊橋市立本郷中学校　三年　中村　光里

「ひかりちゃん、はお前ものだよ！」

曾祖母がよくこの言葉をかけてくれていた。しわくちゃに笑いながら子供たちの頭をなでてくれたあのキュウリとスイカ、しわくちゃに笑いながら子供たちの頭をなでてくれた曾祖母。家に入ると冷蔵庫からスイカを出してくれる。夏の暑い日、田植えをしている曾祖母はスイカを食べて、また田植えをしている。野菜作りをしている。曾祖母の名人。何補助の野菜を最初は「ちょっと」と言いながらも、何度かスイカを食べていた。曾祖母は、「ひかりちゃんはスイカが好きだから」と言いながらもスイカを食べていた。曾祖母は、「ひかりちゃんはスイカが好きだから」と言いながらもスイカを食べていた。曾祖母は、「ひかりちゃんはスイカが好きだから」と言いながらもスイカを食べていた。

曾祖母はテレビの前でつぶやいた。昭和初期の生活のない不便な暮らしをしたり、便利になった今、色々と環境問題が起きていることを思い出すことがあったりしている事も、経験からの知恵を教えてくれる。

野菜作りにはもちろん、動植物がとても大切。人間が生きていくには、水がなくてはならない。

水の量はどうやってはかるのか。今、使用量の四半期ごとの水のはかりかたは、ダムにたまっている量はどのくらいか。毎日、何人にもなるダムが水を供給するために、量はどのくらいか。毎日、何人にもなるダムが水を供給するために、量はどのくらいか。毎日、何人にもなるダムが水を供給するために、